

ジョブコーチの活動状況について

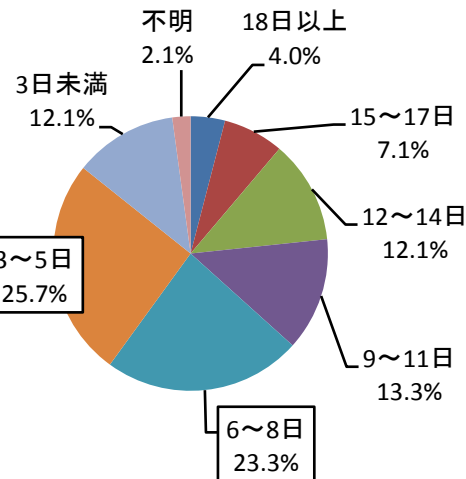
職場適応援助者(ジョブコーチ)養成研修を修了した者のその後の活動状況等を把握するため実態調査を実施したところ、ジョブコーチの活動をしている者は第1号ジョブコーチで54.6%、第2号ジョブコーチは35.3%であった。(調査時期:平成21年9月～10月。有効回答数:第1号ジョブコーチ769名、第2号ジョブコーチ119名)

◎第1号ジョブコーチの活動状況 (「現在活動中」又は「以前は活動していたが現在は活動していない」者。n=420)

1. 月平均活動日数

おおよその月平均活動日数は、3～5日(25.7%)、6～8日(23.3%)が多く、平均活動日数は月7.9日である。

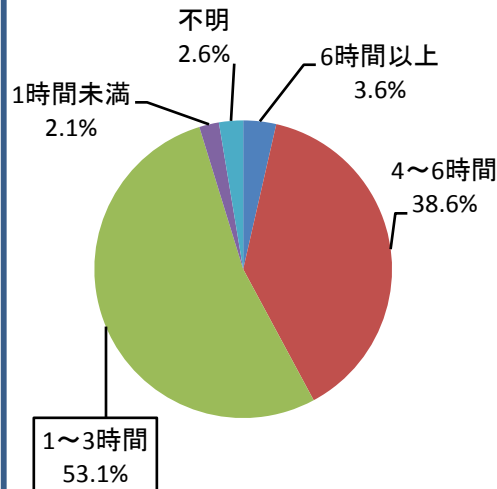
※ 平均活動日数は設定項目の中間値から計算したもの。



2. 1日平均活動時間

おおよその1日あたりの活動時間は、1～3時間が半分以上を占め、平均活動時間は1日3.4時間である。

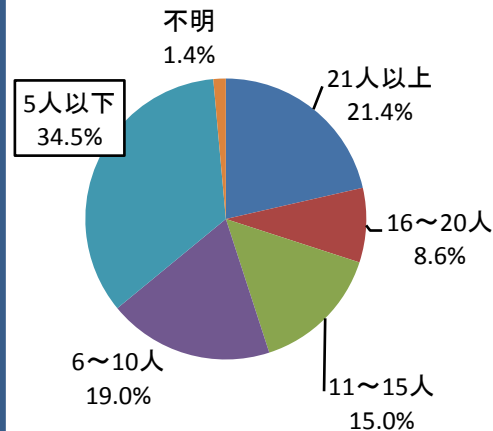
※ 平均活動時間は設定項目の中間値から計算したもの。



3. 支援対象者数

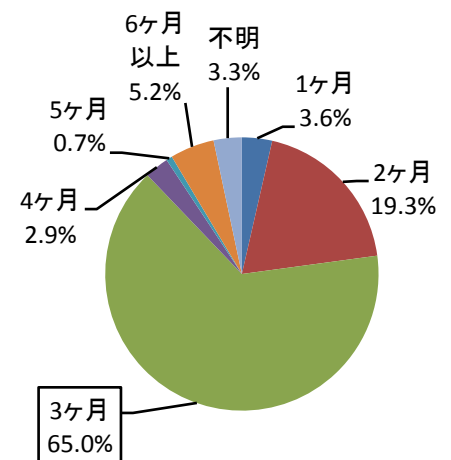
これまでに支援した対象障害者数は、5人以下(34.5%)と答えた者が多い。

なお、対象障害者の障害別は、身体:15.3%、知的:42.0%、精神:26.9%、発達:11.5%、その他:4.2%である。



4. 支援期間

対象障害者一人当たりの支援期間は、「3ヶ月」が6割以上を占め、「2ヶ月」と合わせると8割以上を占める。

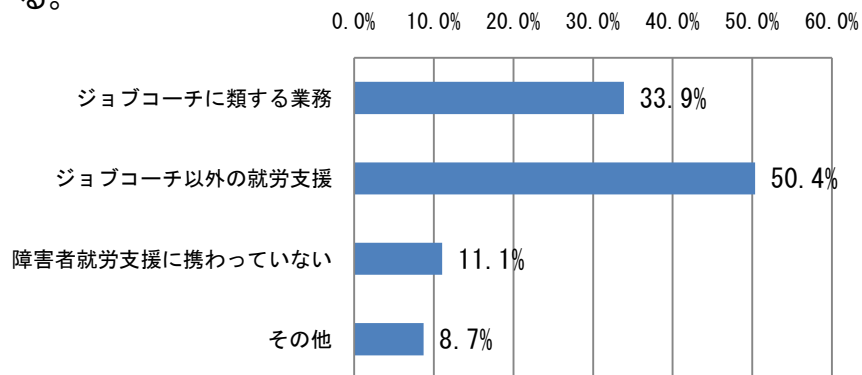


※この調査における「ジョブコーチの活動」とは、地域センターが策定又は承認した支援計画に基づき、職場適応援助者助成金を活用して支援を行った場合を指す。

◎第1号ジョブコーチとして現在活動していない者の状況 (n=424)

1. 現在の業務内容

現在の業務内容としては、「ジョブコーチ支援以外の障害者就労支援業務に携わっている」者が約半分を占めた。また、職場適応援助者助成金は活用していないが、ジョブコーチ支援に類する支援業務を行っている者も3割程度おり、なんらかの形で障害者就労支援に携わっている者は合わせて8割程度を占めている。

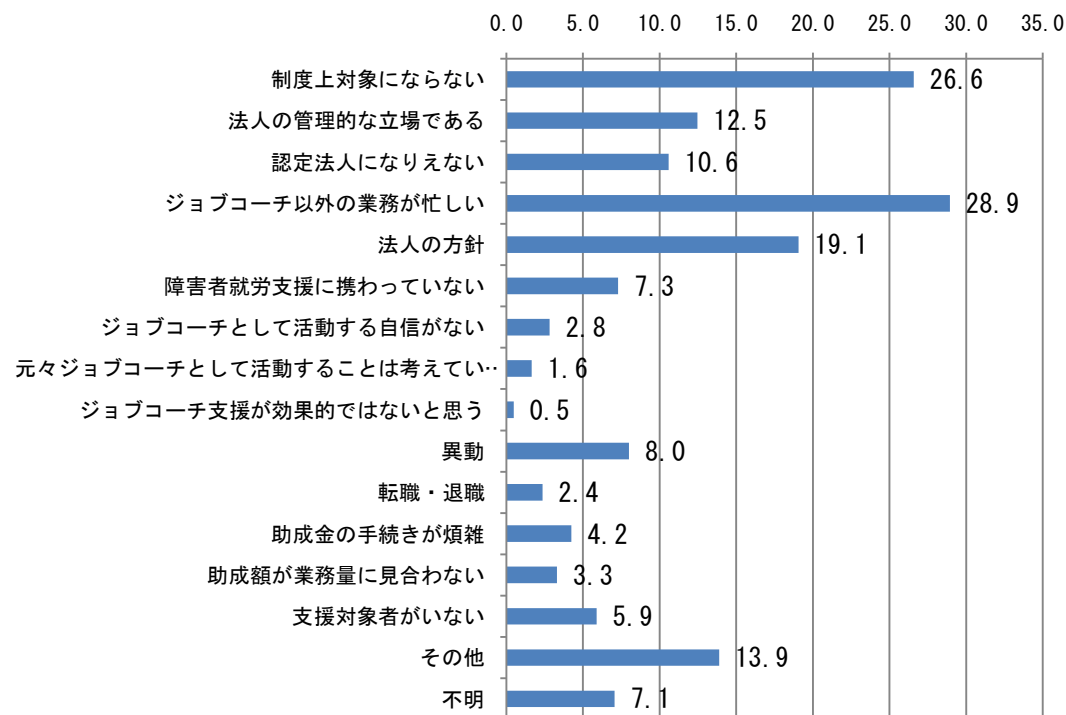


<各項目の具体的な内容>

- ジョブコーチ支援に類する業務
 - ・職場適応援助者助成金の認定法人ではないが、ジョブコーチに類する業務を行っている。
 - ・職場開拓、就職時のつきそい支援
- ジョブコーチ支援以外の障害者就労支援
 - ・就労継続支援事業所(B型)における作業指導
 - ・障害者就業・生活支援センターのワーカーとして支援している。
- 障害者就労支援に携わっていない
 - ・入所施設等における生活介護支援
 - ・退職
- その他
 - ・特別支援学校での指導

2. 現在活動していない理由

現在活動していない理由としては、「他の業務を兼務しているので、制度上助成金の対象とならない」等、そもそも助成金の対象になりえない要因や、「ジョブコーチ以外の業務が忙しい」等、法人の体制に関する要因が多く、「障害者就労支援に携わっていない」等、個人の要因は少ない。



<「その他」の具体的な内容>

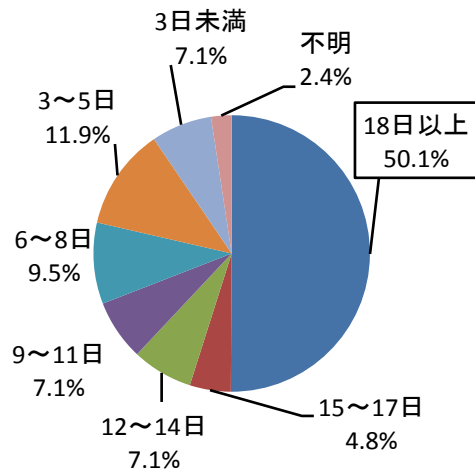
- ・法人内の人人体制が整っていないため。
- ・助成金認定法人の要件に該当しない。(就労支援実績が足りない、地域障害者業センターとの連携体制がない等)

◎第2号ジョブコーチの活動状況（「現在活動中」又は「以前は活動していたが現在は活動していない」者。n=42）

1. 月平均活動日数

おおよその月平均活動日数は、18日以上が約半分を占め、平均活動日数は月13.0日である。

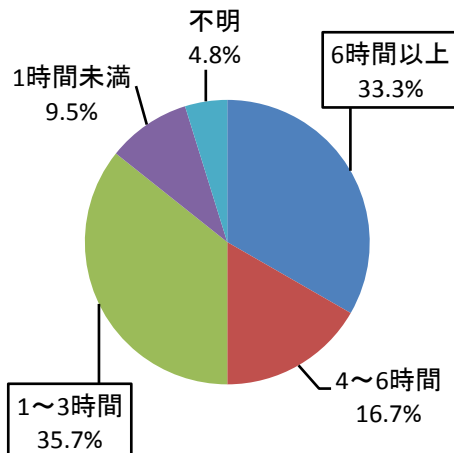
※ 平均活動日数は設定項目の中間値から計算したもの。



2. 1日平均活動時間

おおよその1日平均活動時間は、6時間以上(33.3%)、1~3時間(35.7%)が多く、平均活動時間は1日4.5時間である。

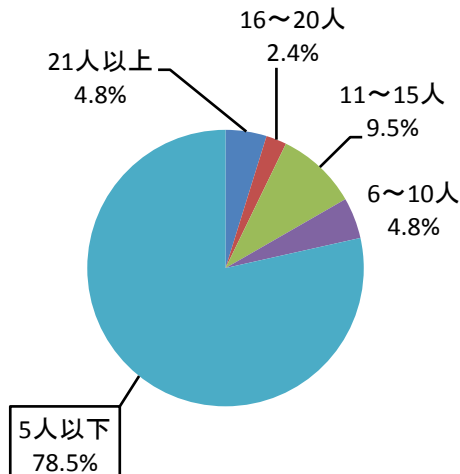
※ 平均活動時間は設定項目の中間値から計算したもの。



3. 支援対象者数

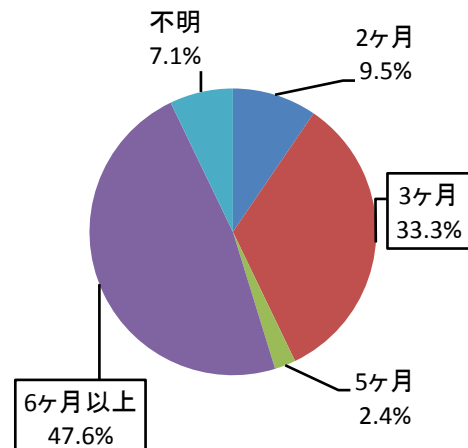
これまでに支援した対象障害者数は、5人以下が約8割を占める。

なお、対象障害者の障害別は、身体:17.2% 知的:55.2%、精神:17.2% 発達:10.3%、その他:0.0%である。



4. 支援期間

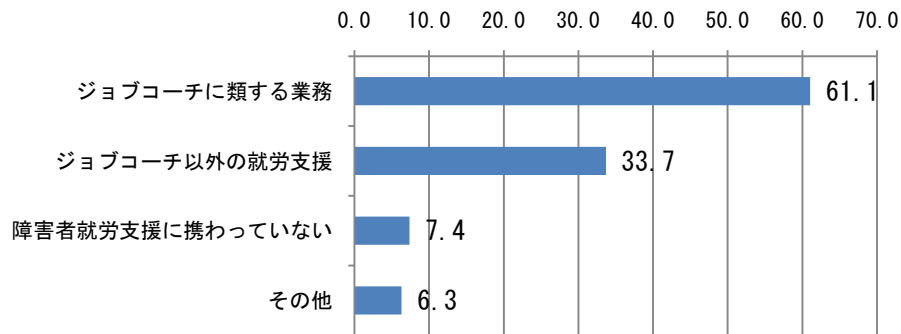
対象障害者一人当たりの支援期間は、6ヶ月以上が約5割、3ヶ月が約3割程度を占める。



◎第2号ジョブコーチとして現在活動していない者の状況 (n=95)

1. 現在の業務内容

現在の業務内容について質問したところ、職場適応援助者助成金は活用していないが、ジョブコーチ支援に類する支援業務を行っている者が約6割を占める。また、ジョブコーチ支援以外の障害者就労支援業務に携わっていると答えた者も約3割程度を占め、何らかの形で障害者の就労支援に携わっている者が9割以上である。



<各項目の具体的な内容>

●ジョブコーチ支援に類する業務

- ・職場適応援助者助成金の認定法人ではないが、特例子会社の現場指導員として支援している。
- ・社内における職務の切り出し、他部署との調整、関係機関との連携

●ジョブコーチ支援以外の障害者就労支援

- ・企業実習受入れ、実習指導を担当
- ・障害者のための社員研修企画、障害者採用に関する人事労務管理

●障害者就労支援に携わっていない

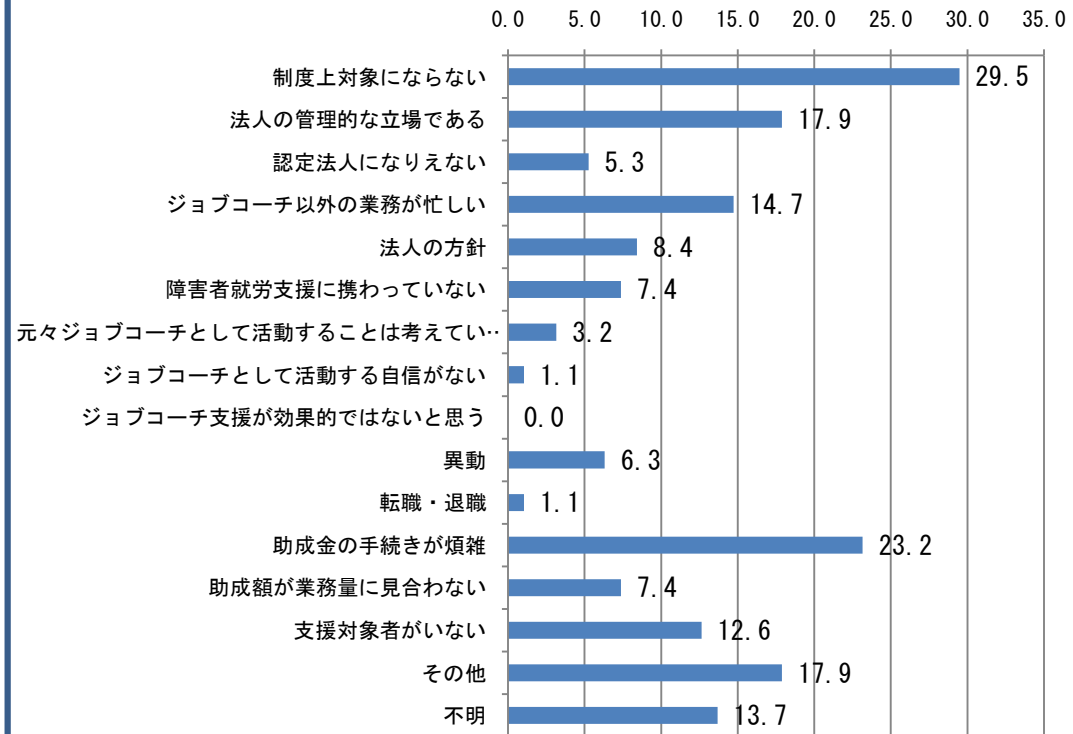
- ・民間企業の人事労務事務担当
- ・異動により他部署で勤務

●その他

- ・障害者福祉サービス事業者の経営支援

2. 現在活動していない理由

現在活動していない理由について質問したところ、「他の業務を兼務しているので、制度上助成金の対象とならない」等、そもそも助成金の対象にならない要因を理由として挙げた者が多くを占める。また、「助成金の手続きが煩雑」等、助成金の手続きに関する要因を挙げる者も多かった点は、第1号ジョブコーチとは異なる傾向である。



<「その他」の具体的な内容>

- ・助成金認定法人の要件に該当しない。(就労支援実績が足りない等)
- ・本人がジョブコーチ支援を求めない。(上司と部下として接して欲しいという希望。)